

横田消防署 防災週間のイベントを開催(1) *Yokota fire department hosts Fire Prevention Week events*

October 17, 2023

By Airman 1st Class Jarrett Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

10月8日から14日にかけて実施された横田「防災週間」に伴い、第374施設中隊消防署は、基地住民の防災意識の啓発と防災に関する知識の向上を図る目的でさまざまな催しを行った。

毎年恒例の「防災週間」は、世界中のほとんどの米国防総省の基地で行われているもので、軍人とその家族の防災意識を高揚する重要な行事となっている。第374施設中隊では、その一週間を通じ、パレード、実火消火実演、消防のマスコットとのふれあいなどのイベントを行った。

今年の防災週間のテーマは「調理の安全」。第374施設中隊消防署は横田基地の住民に対し、調理時の火災予防を呼びかけた。

(写真1)横田基地「防災週間」初日の10月8日、模擬火災の実演で炎に立ち向かう第374施設中隊の消防士たち。横田基地の住民たちは「防災週間」のイベントに参加し、第374施設中隊消防署の任務と一般の火災時の安全行動基準等について知識を広めた。

(写真2)防災週間のイベントに集った子どもとカメラに向かってポーズをとる消防署マスコット犬のスパークー。(撮影:10月8日)



1



2

(写真3)台所の火災を実演する第374施設中隊消防署の消防士たち。
(撮影:10月8日)

米国では調理が住宅火災の主要な出火原因となっており、2016年から2020年の間の消防署の出動件数は年間16万6400件以上にのぼる。横田基地の関係者は住民に対し、台所に火災の危険がないかチェックし、安全な調理を実践するよう呼びかけている。



3

横田消防署 防災週間のイベントを開催(2) *Yokota fire department hosts Fire Prevention Week events*

October 17, 2023

By Airman 1st Class Jarrett Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真4) 模擬の煙を充満させた部屋を体験する横田基地の家族。体験を通じて、家族らは火災が発生した際にどう行動すべきかを学んだ。

(撮影: 10月14日)



4

(写真5) 参加者が搭乗したはしご車を上昇する東京消防庁の消防士。

(撮影: 10月14日)



5

(写真6) アートコンテストの受賞者の一人と記念撮影する第374施設中隊消防署のマスコットたち。アートコンテストは、毎年、防災週間に実施されている。

第374施設中隊消防署の署員は、一週間にわたる「防災週間」のあいだに基地内の各学校を訪れ、児童・生徒たちに防災を呼びかけたほか、生徒たちのアート作品の表彰を行った。(撮影: 10月14日)



6